



18歳まで医療費無料化実現

みなさんの声を区政に届けてきました

区政に送り出していただいて4年。みなさんの声をなんとしても届けたいと全力でがんばってきました。そんななかで、公約した18歳までの医療費無料化が2023年4月から実現することになりました。

国の政治がますます庶民を苦しめているだけに、「区民の痛みがわかり、区民に寄り添う区政」に変えていくために、いっそうがんばる決意です。引き続き区政で働かせてください。よろしくお願いいたします。

日本共産党 新宿区議会議員

ふじわら

藤原たけき

お気軽にご相談ください **070-5371-5853**

藤原たけき fujiwaratakeki@gmail.com

連絡先：新宿区山吹町311 榎本荘1階 日本共産党牛込北事務所

日本共産党・藤原たけき区議の活動を紹介します。

明るい新宿

2023年春号外
発行●明るい新宿社

新宿区北新宿1-30-26 篠崎修之



祖母の思いを胸に戦争反対!

祖母は戦争中、実家の写真館で撮影を手伝っていました。戦死者の階級章の星や勲章を筆で修正した遺影を遺族に渡すことも。夫を亡くした女学校の同級生から「星の数なんか増えなくても、生きて帰ってきてほしかった」と言われ本当につらかった、と話していました。

戦争反対、憲法9条改悪を許さない。私の強い思いの原点です。

軍事費2倍化ストップ! 憲法いかし平和外交を。ウクライナに平和を!



都議会議員
大山とも子

誰にもやさしい心づかいの藤原さん

初めて会った方とも親しくお話しして、別れ際、「何にもないのが一番ですが、困ったことがあったら遠慮なく声をかけてください」と必ず声をかけるのが藤原さんです。法律事務所での経験もフル動員して、解決するために全力を尽くしています。

亡き夫・松ヶ谷まさおの後継者として、引き続き区政で頑張してほしい

藤原さんは、亡き夫・松ヶ谷まさおの後継者、地元の共産党の区議として頑張っています。「役所に出す書類が分からない」「高齢で一人暮らしが大変」など、相談の電話が鳴るたびに藤原さんに連絡すると、話をじっくり聞いて一緒に考え、解決してくれます。藤原さんには、引き続き区政で頑張してほしい。

山吹町 松ヶ谷和子



- 1971年、北海道大樹町生まれ。専修大学法学部卒。
- 法律事務所勤務などを経て、新宿区議1期。●行政書士試験合格。高校教諭I種免許(公民科)。
- 趣味はサイクリング、少林寺拳法(初段)。
- 早稲田鶴巻町在住。

ピンチになる前に動く政治を

藤原たけき



法律事務所でも働いていた時、多重債務をかかえた家族の立ち退きに立ち会いました。お母さんと小さな子どもが2人、涙を流しながら「これからどうしたらよいのでしょうか」と途方に暮れていました。どうすることもできませんでした。

「もっと早く相談に来てくれたら、こんなひどい状況にならなかつたのに」。この痛恨の思いが、区議を志した原点です。区民のみなさんがピンチになる前に動く政治に変えたいのです。

「**受診を控える高校生をつくらない**」

2023年4月 18歳までの医療費無料化ついに実現

高校生の子をもつお母さんの声を聞き、公約に

4年前、街頭演説中に女性から、「高校生の子どもが家計が苦しいのを察して、咳をゲホゲホしていても『大丈夫だから』と医者に行かない。気をつかせているのがつらい」という話を聞きました。当時、医療費無料化は中学生まで。なんとかしたいと思い、18歳までの医療費無料化を区議選の公約に掲げました。

区議会初質問で要求

区議になって2019年6月の初質問で、このお母さんの声を紹介し、経済的理由で受診を控える高校

生がいるという都の調査やすでに実施している区があることを示し、実現を求めました（写真）。しかし区は、「考えていない」と答えました。



条例提案で実行迫る

2021年6月の区議会で、日本共産党は18歳までの医療費無料化条例を提案。私が代表して提案説明しました。自民、公明などの反対で否決されましたが、その後、他党も政策に掲げるようになりました。

める」と答弁。ついに実現することになりました。

都の動きをとらえて、「所得制限・自己負担なし」を求め、実現へ

2022年1月、都が子どもの医療費無償化の対象年齢を18歳まで拡大することについて、2023年度から所得制限と一部自己負担ありで実施する方針を示しました。この動きをとらえて、3月の区議会で「所得制限・自己負担なしで実施すること」を求めました。これに対し区は、「所得制限・自己負担なしで進

高校生の健康を守る重要な施策

都の有意な調査結果からも判るように、窓口負担のためか、高校生になると、アレルギー疾患や慢性病で治っていないのに、受診間隔が長くなる子どもが出てきます。苦しくても我慢している子が増える実感があります。安心して通院できるなど、子どもの健康を守る施策が重要。藤原さんには頑張ってもらいたい。

区内クリニック・E医師

未就学児の国保料が半額に

国民健康保険は、子どもを含む加入者全員に均等割保険料がかかります。しかも、新宿区の国保料は20年連続値上げ。日本共産党はくり返し軽減策を提案。2022年3月の区議会では、第3子以降の子どもの均等割を無料にする条例を提案し、代表して提案説明しました。

全国知事会などの要望もあり、2022年度から未就学児の均等割が半額になりました。さらに18歳まで半額にするよう、がんばります。

学童クラブ、特養ホーム増設



学童クラブが設置された鶴巻小学校

2019年区議選で「保育離職・介護離職ゼロ」を公約に掲げ、鶴巻小学校内に学童クラブ、市谷薬王寺町に特養ホームが実現しました。

コロナ ピンチの人をさらにピンチに ネットカフェ利用者の“ホテル追い出し”で区長が謝罪

コロナ第一波の際、住居を失ったネットカフェ利用者に都と区がビジネスホテルを提供しました。都が期間延長を決めたにもかかわらず、新宿区は利用者に知らせず、98人がホテルから追い出されました。支援団体が抗議し、マスコミも批判。直後の区議会で、「問題の本質は、区が意図的に虚偽の告知をしたことだ」と追及すると、区長は「利用者に寄り添った対応ができていなかったことを率直におわびしたところ」と答弁。毎日新聞は、「藤原健樹氏（共産）への答弁」と紹介して、「この問題について区長が公の場で発言するのは初めて」と報道しました。

新宿区は統一協会関係団体の「後援」取り消せ。自民党は癒着を断ち切れ

不当解雇とたたかい、勝利 ブラック企業を許さない 藤原たけき



私は、就職氷河期に大学を卒業し、7年間非正規で働いた後、ようやく正社員として就職しました。しかし、経営者が交代し、追い出しパワハラが始まって、ある日突然、解雇されました。労働組合の仲間に支えられて、不当解雇撤回を求めて団体交渉を重ね、ついに勝利しました。その後、支えてくれた人たちからすすめられ、「同じ苦しみを味わう人をなくしたい。人間らしく働き、安心してくらせる社会をつくりたい」と日本共産党に入党しました。

新宿スポーツセンターの管理運営

条例違反の委託ストップ！



2020年12月、新宿スポーツセンター（写真）の管理者をコナミスポーツなどで構成するグループに指定する議案が区議会に提案されました。しかし、同社は「名ばかり管理職」の残業代不払いで東京高裁で違法判決を受けた有名なブラック企業です。すぐに担当課に、「違法判決を受けた会社は指定管理者に選べないはず。条例違反だ」と指摘しました。区は慌てて調べ直し、そのとおりだったため、議案を撤回しました。新宿区政史上前代未聞のことです。

区議会で経緯の説明を求めたところ、担当部長は「藤原議員から問い合わせをいただいて裁判例を確認し、会社の担当部長、執行役員を呼んで事情聴取をおこない、議案を取り下げた」旨答弁しました。他党の議員からも、「藤原議員が大活躍した」と評されました。

次の4年は、これ をやりたい！



日本の学費は世界でも異常な高さ。学生の半数以上が奨学金を借り、勉学の傍らアルバイトに励み、コロナ禍で減収など、いっそう深刻です。2022年9月の区議会で、①公営住宅への入居、若者向け家賃助成の復活、②給

生活相談 600件

若者応援：公営住宅への入居、家賃助成の復活、奨学金返還支援

くらし、働き方、子育て、介護、町の環境など、たくさんのご相談をお受けします。切羽詰まって電話してくる方も少なくありません。ていねいにお話を聞いて、解決の方向をご一緒に考えることや、調査して資料を作成し、行政などに働きかけることを大事にしています。

法律事務所12年の経験生かし

抜群の調査力

再出発できて、本当に助かりました

家族ともに体調不良や怪我で事業を続けられなくなり、藤原さんに相談。「一緒に頑張りましょう」と励ましてくれ、廃業手続と生活保護の申請をして一息つくことができました。その後は再就職の相談にも乗ってもらい、生活保護からも卒業できました。「自殺するしか…」と悩んでいた家族も施設に入ることができて、本当に助かりました。
榎町・Aさん

大規模工事の騒音・粉じん対策で、すぐ動いてくれた

自宅近くの大規模な建設工事が始まりましたが、騒音・粉じん対策を明らかにせず強引に進めようとしていました。藤原さんは建築士や弁護士と連携し、業者の提出した資料を調査して問題点を確認。区や都の担当課に相談してくれました。その後、業者の態度が一変。騒音計の設置や粉じん対策も行われました。行政にも法律にも強い藤原さんには、頑張ってほしい。
市谷加賀町・Bさん

歩行者用信号の延長、バリアフリー化など頑張る藤原さん

「江戸川橋通りと早大通りの交差点は高齢者が渡り切れないので歩行者用信号の時間を長くできないか」と藤原さんに相談しました。住民から聞き取りして資料にまとめ、警察などに粘り強く要請してくれました。藤原さんは、歩道タイルのひび割れやスリップの対策など、地域のバリアフリー化も一生懸命やってくれます。
山吹町・Cさん

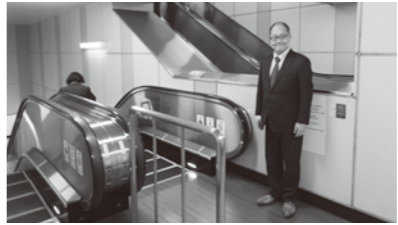
法律事務所ので福島の原発事故の裁判に関わり、国や東京電力が津波対策を怠ってきたことを示す資料を探し出し、地裁・高裁での勝訴の大きな力となりました。法律事務所ですべて身につけた知識と経験が、生活相談や区議会の調査にも生きています。

障がい者がくらしやすい街が、
高齢者や子どもにとってもくらしやすい街が、
バリアフリーすすめる 藤原たけき



私の妹は、がんで視力を失い、18歳で亡くなりました。生前に白い杖をつけて懸命に歩む妹の手を引いた時、「道路はこんなに歩きにくく危険なものだ」と知りました。「障がい者がくらしやすい街が、高齢者や子どもにとってもくらしやすい街」だと思います。

駅にエレベーター エスカレーター



神楽坂駅神楽坂口のエスカレーター

区議になる前から、地域のみなさんと一緒に、東京メトロや国土交通省へくり返し要請してきました。

2016年に江戸川橋

駅にエレベーター、19年に神楽坂駅神楽坂口のエスカレーターとエレベーター、早稲田駅の中野方面ホームにもエレベーターが実現しました。

神楽坂駅矢来口にも設置できるよ
う、ひき続きがんばります。

歩道に点字ブロック

区議になる前、目が不自由な方から「大江戸線と西武線の中井駅間に点字ブロックがあれば」と聞き、区に確認したら、「道が狭くて付けられない」と言われました。そこで、杉並と秋津へ現地調査に行き、「狭い道用の点字ブロック」があることがわかり、共産党区議団に取り上げてもらい、設置が実現しました。

当選後、さらに都に要請。2020年1月、中井駅と落合駅の間にも点字ブロックが設置されました。

今後も、最寄りの駅やバス停から公共施設まで周辺の歩道に点字ブロックや休憩用のベンチが設置されるよう、取り組みます。



落合駅前の点字ブロック

「コミュニティバス等新しい地域公共交通実現へ全力！」

にとつては少しの距離の移動が困難、さらに新宿区は坂道が多くて

いつそう大変だと訴えました。

区は、「移動が困難な方への支援は課題であると認識している」と答えました。しかし、「坂道が多いという理由で特定の地域にバスなどを運行するのは、公平性・客観性の観点から課題がある」と言って、コミュニティバス運行に消極的です。

すでに23区中21区（試験運行を含む）がコミュニティバスを運行しています。なんと実現したいと思えます。

「牛込地域は坂が多くて大変」「病院などを巡回するコミュニティ

バスがほしい」など、切実な声が寄せられています。区議になる前からも区議になってからも、実現めざして取り組んでいます。

区議会で高齢者・障がい者の移動の大変さを訴えて

2020年9月の

区議会では、「新宿区に交通不便地域はない」と言う区に対して、高齢者や障がい者



新宿の緑を守り、増やします

新宿区では定期的に「みどりの実態調査」を行っており、近年、屋上緑化などで緑の面積はわずかに増えています。しかし、道路工事による街路樹の伐採などで樹木の本数も樹林面積も減り、緑の質は低下しています。

●神宮外苑の樹木伐採を中止させ、●樹木保全策の充実や大規模建設時の緑化面積を増やすなど、緑を守り増やす取り組みをすすめます。



神宮外苑のイチヨウ並木

再開発でマンションや施設が建つたびに、屋敷地の樹木やささやかな緑がなくなっています。それに加えて神宮外苑の伐採問題。区が貴重な緑を守り、辻々の緑を増やすような政策をとるよう、藤原さんに頑張ってもらいたい。

弁天町・Dさん

牛込南地域のみなさんの願いは、 今度は藤原たけきさんへ

私は今期で引退します。長年のお力添えに、感謝申し上げます。



区議会議員
あざみ民栄

■藤原たけき区議の活動地域

新小川町、下宮比町、津久戸町、筑土八幡町、白銀町、東五軒町、西五軒町、水道町、改代町、築地町、赤城元町、赤城下町、矢来町、中里町、天神町、榎町、東榎町、南榎町、山吹町、早稲田鶴巻町、早稲田町、早稲田南町、弁天町、戸塚町1丁目、都営早稲田アパート

神楽坂1～6丁目、神楽河岸、揚場町、横寺町、岩戸町、袋町、若宮町、笹笥町、北町、中町、南町、細工町、納戸町、弘方町、市谷船河原町、市谷砂土原町1～3丁目、市谷田町1～3丁目、市谷鷹匠町、市谷長延寺町、市谷左内町、市谷八幡町、二十騎町、北山伏町、南山伏町、市谷山伏町、市谷甲良町、市谷加賀町1～2丁目、市谷柳町、市谷薬王寺町、市谷仲之町、市谷本村町